

What's Cool

今泉 洋の



世界で最も有名な音楽の殿堂 カーネギーホールをすべて

WELCOME TO CARNEGIE HALL

URL <http://www.carnegiehall.org/>

ニューヨークにある、おそらく世界で一番名前の知られたコンサートホール、カーネギーホール。このウェブサイトのアクセスガイド、コンサートなどのイベントカレンダーやそれに連動したチケットのオンライン販売、ギフトショップといった実用的なメニューが備わっているのは当然だが、最も興味深いのが「Virtual Visit」。

「Timeline」は米国の音楽史のものと言ってよい。これ以外にもOmniViewの迫力ある全周天映像を使ってステージおよび客席を自由にナビゲートできる「Photo Bubble」や、リアルオーディオの音声ガイドを使ってカーネギーホールの全施設を見学できる「Walk Through」(アイザック・スターンの前口上付きだ!)などが揃っている。

100年以上の歴史を持つ文化施設の蓄積してきた多様な情報を上手にウェブにまとめた好例である。



今回紹介したサイトガイドがリアルオーディオで聞ける!

「What's Cool Radio」

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/radio/>

ベンチャー Amazon.com に挑戦状 老舗 B&N 社のオンライン書店

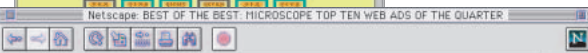
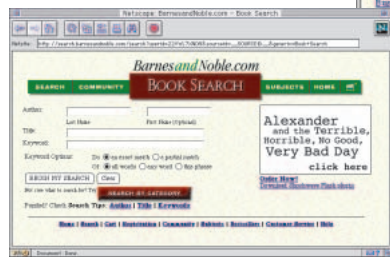
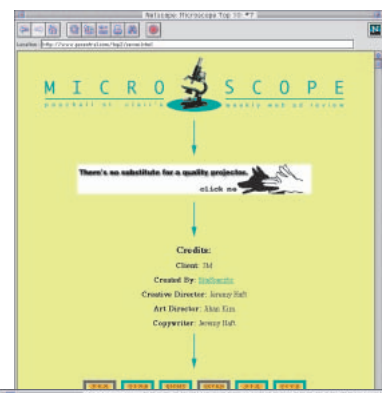
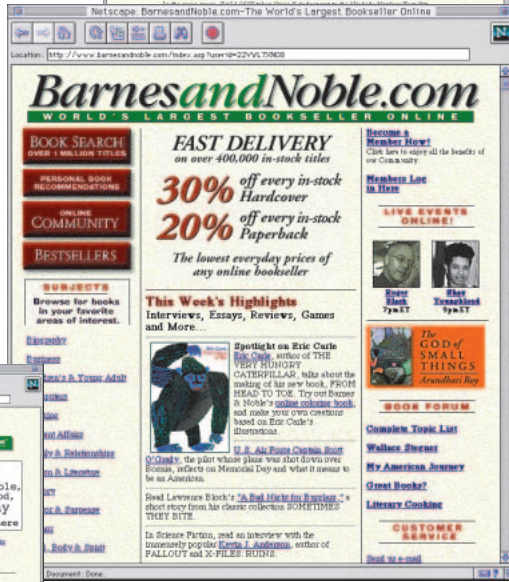
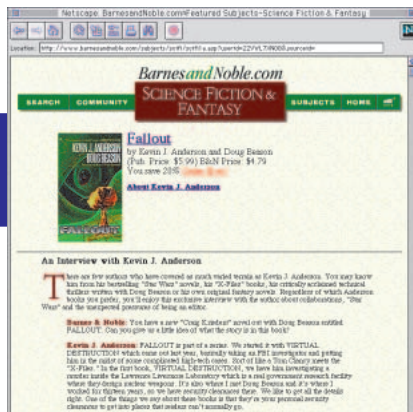
BarnesandNoble.com - The World's Largest Bookseller Online

URL <http://www.barnesandnoble.com/>

「地上最大の書店」を標榜していた Amazon.com に強敵が出現。それが 100 万以上のタイトルを揃え、ハードカバー 30%、ソフトカバーは 20% のディスカウント、そして「世界最大のオンライン書店」を豪語するウェブサイト「BarnesandNoble.com」だ。米国の大型書店 Barnes and Noble が開始したこのサービス、相当に Amazon.com を意識しているようで、サイトのラウンチも

Amazon.com 社の株式公開にタイミングを合わせ、さらに同社の謳い文句である「地上最大……」を不当表示で訴えたとか。さて問題のウェブページだが、単なるオンラインショッピングにとどまらず、著名人へのインタビューなどオリジナルコンテンツにも力を入れ、グラフィカルな演出でいかにもお金をかけたという感じ。また米国の某若者向けサイトを見ていたら、おそらくク

ッキーを使って日本からのアクセスだと判断したのか、日本語の広告バナーを出してくるなど、海外へもなかなか精力的なアプローチをかけているようだ。おそろべし BarnesandNoble.com。ウェブビジネスのパイオニアとして評価の高い Amazon.com にはつらいが、ユーザーとしては両社の競争でより便利に安く出版物が手に入るようになることを期待したい。



絶妙なセンスのバナー広告スライドショー

BEST OF THE BEST : MICROSCOPE TOP TEN WEB ADS OF THE QUARTER

URL <http://www.pscentral.com/notes.html>

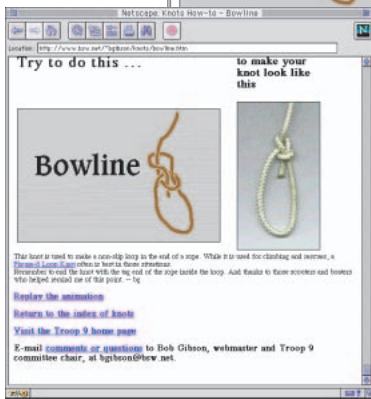
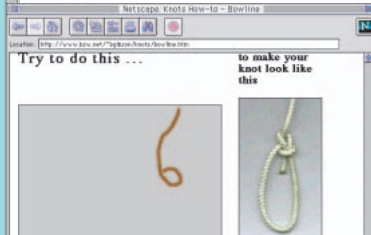
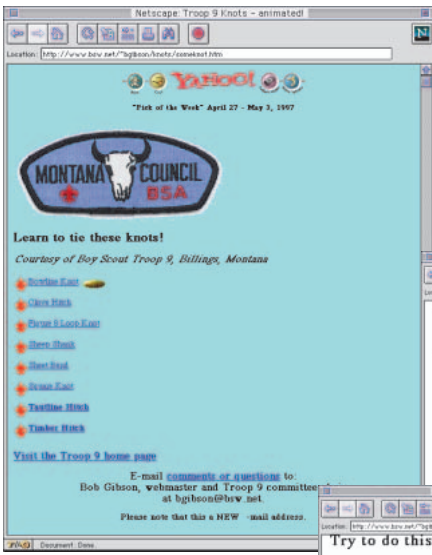


日本でもウェブ広告の有用性が注目されるとともにバナー広告がたくさん見られるようになったが、コピーや仕掛けの面白さでは残念ながらまだまだ米国に及ばないようだ。この「MicroScope」は週単位で米国のウェブ広告レビューを行っているサイト。メインになっているのはその週のパナー広告のベスト10。クライアントはもちろんだが、制作プロダクション、クリエイティブディレクター、アートディレクター、コピーライター

、グラフィックデザイナーといったチームクレジットがきちんと紹介されているあたり、層の厚さというか広告業界の本気ぶりが見てとれる。いちいちクリックするのが面倒という人はホームページから「Slideshow」を選択すれば、気の利いたコピーのバナーが次から次へ登場。しゃれたコピーとギミックに思わずニヤリの連続。気になるバナーをクリックすれば、そのレビューを読むことも可能。まさにウェブ広告担当者必見のサイトである。

ボーイスカウト直伝 GIFアニメで学ぶヒモの結び方 Troop 9 Knots - animated!

URL <http://www.bsw.net/~bgi/bson/knots/someknot.htm>



全米で最も素朴な農業地帯と言われるモンタナ州はピリングス。そのボーイスカウト第九隊のウェブにあるヒモの結び方を解説したページである。

ただ単に結び目といっても、ヒモの結び目で情報を伝える、つまり結び目を言葉として使う民族があるくらい、結び方には奥の深いものがある(ホント?)。それはともかく、おそらく登山したり船を操ったり、特別な作業にかかわる人をのぞけば、ふつうの

人が知っているヒモの結び方はせいぜい2~3種類だろうし、子どものころ手ほどきを受けて以来、じっくり挑戦してみたこともないだろう。

ここに紹介されているのはボーイスカウトで教える8種類の基本的な結び方のようだが、目の前で実演してもらおう代わりに、ウェブ上のGIFアニメで順を追って覚えていくことができるという楽しい仕組み。いつか使う日のために、じっくり勉強してみるのも悪くない。

デートのお誘いには最新映画のポストカードを送ろう

UIP Movi email

URL <http://www.moviemail.co.uk/>

ひとくち流行ったポストカード電子メール。当初はシンプルな絵柄でも受けていたものの、インパクトのあるネタが尽きてしまっただけに見に行くほどのこともない、ということになってしまったのか、最近あまり評判を聞かなくなりました。そこでご紹介したいのがこのサービス。

英国の United International Pictures (UIP) の提供するこのページでは、最新の映画のクリップをポストカード代わりにメッセージとともに届けることができるといふより、URL とユーザーID、パスワードのセットがメールで受取人に届くという仕組み。

執筆時点でリストアップされているのは「Beavis and Butthead Do America」「The Lost World」「Dante's Peak」などの最新作。もちろん送る側はクリップを選ぶ段階で多くのクリップを楽しむことができるから、単に映画紹介のウェブとして見てもよい。

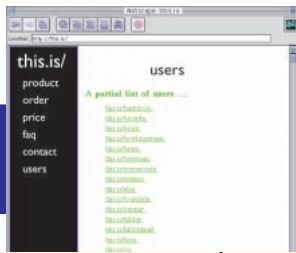
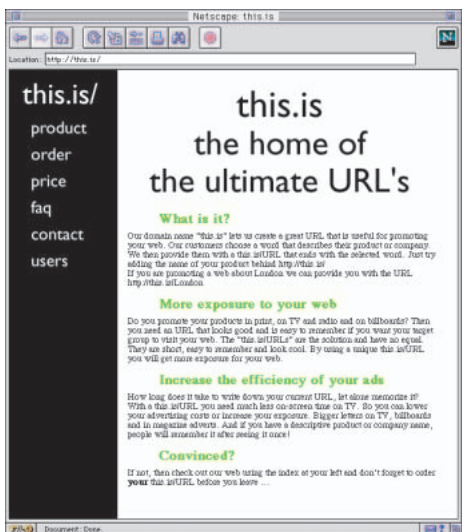
映画を宣伝しようとする側の目論見は、送る人、受け取る人の両方に見てもらえるというわけで、一挙両得作戦なんだろうが、さて、実際は...。「今度のこの映画、面白そうだよ。見に行かない?」という使い方をすれば、どれくらいいいんだらうか?



なるほど納得 ロジックの通った究極のURLサービス

thi s . i s

URL http://thi s . i s/



「あなたの名前がドメインが取れます」というサービスが出てきたり、商標でのドメイン取得をめぐる駆け引きがニュースになって久しい。最近ではドメインの種類追加プランも出てくるなど、にぎやかなことこの上ない状況……なんて思いながらウェブをうろついていたら、意外な盲点をついたサービスを発見した。それがこの「this.is」だ。アイランドのカントリードメイン名「is」をうまく取り込んだこのサイト。ここを利用

すれば、下のディレクトリーに自分の名前や商品名を付けて「this.is/cool」みたいな使い方で、非常に覚えやすいURLを確保できるというわけ。コマースルコースの料金は、下に付くディレクトリー名の種類・汎用性によって年間1,000ドルから30,000ドルまでの差があるという具合で、なかなか商売がお上手。ちなみに個人名なら年7,500ヒットまでが200ドルである。ついでに「what.is」の所有者を調べてみたところ、

こちらのドメイン名もレイキャビクにいるこのサイト運営者が持っているらしい。うーむ、重ね重ねガッチリしてます。アイランドへの回線が細いためか、アクセスに時間がかかるのが難点だし、ユーザーのリストを見てもあまりいいものがないので、うまくビジネスできているかどうかは不明だが、とりあえずちょっとした話のネタにはなりそうである。

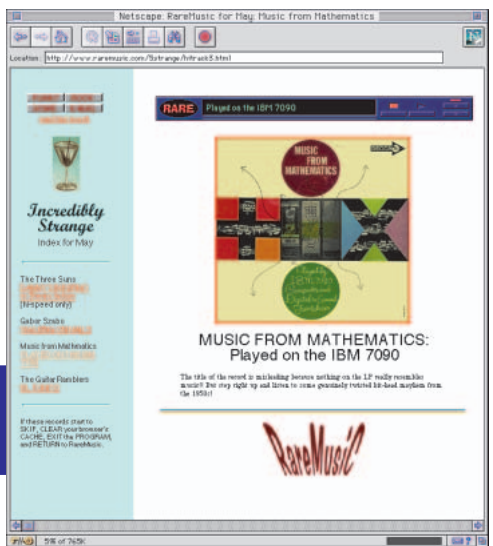
名前から分かるように、月替わりで「レアもの」の音楽を紹介するサイトである。「レア」と言うくらいから出てくるのは当然、ほとんどの人が知らないと思われるミュージシャンばかり。したがって、いちいち名前をあげることはしないが、全体は「Rock」

「Funky」「Weird(奇妙)」の3つに分かれている。執筆時点で掲載されている5月号の内容はIBM7090による50年代のコンピュータ音楽、60年代のトランスベスタイト・ソウル、テクノのはしりまで多種多様。だが、今聴いても(というより、今であれ

ばこそ)やけに新鮮なサウンドで、いずれも一聴の価値があるものばかり。流行のスタイルが決まってしまうと、どれもこれも似たものばかりになってしまう昨今の音楽シーンに不満な方にはぜひ聴いてみることをお勧めする(要ショックウェーブ)。

Old but Cool! ウェブで見つける音楽の掘出し物
RareMusic on the Internet

URL http://www.raremusic.com/



東京に住みながら家庭を持つのは大変である。なんて家は持っても庭までは至難の技という状況なのだから……なんてことも言いたくなる日本の都会生活者にちょっと屈折した和みを与えてくれるのがこのサイト。全米に230店舗を持ち、鳥の巣箱や餌箱、鳥用の水浴びボックスまでを扱っているWild Birds Unlimited社が、パー

ドフィーディング・ホビーストのために裏庭の餌箱にやってくる小鳥たちの模様をウェブで中継しているサービスだ。もちろん同社の製品や鳥の餌づけに関するティップスも収録されている。もう1つご紹介する「Falcon-Vision」(http://mordor.transarc.com/dfs/public/falconzw/timeefs.html)はピッツバーグのガルフタワーという高層ビルに設置されたライブカム。原稿執筆時点ではすでに孵化してヨチヨチ歩きの状態なので、この号が

発売されるころには飛び立っているかもしれないが、このビルのトップに巣を構え、都会の中でもたくましく生きるハヤブサの雛の成長を見ることが出来る。両方とも時差の問題があってライブ映像を楽しむことは難しいが、どちらもライブラリを備えている。仕事に追いまわられている筆者としては、ハイライト部分でも見ながら自然の中でインターネットできる日を楽しみに待つことにしよう。

小鳥を見てひとごみ 都会生活者のためのネイチャーウェブカム
WBu Feeder Cam Home

URL http://www.wbu.com/feederCam_home.htm

名作映画 250 本の持つ莫大なデータをハイパーリンクで楽しむ

Random Movie

URL <http://us.imdb.com/M/random-title>



「Internet Movie Database (http://us.imdb.com/)」
 と言えば、インターネット上の最も充実した映画データベースとして知られるサイト。このページの中で、いかにもハイパーリンクな楽しみ方ができるのが「Random Movie Title」だ。
 このURL(ホームページからプルダウンメニューでジャンプすることも可能)では、あらかじめ選択された250本の名作の中からランダムに選ばれた作品が表示されるが、そのページには俳優や監督、プロデューサーや製作スタッフリストなど作品のフルクレジットが掲載されている。これらの中で出演者や製作者、作品ジャンルなど気になる要素があれ

ば、それをクリックすることで関連する情報をすぐに取り出すことができ、さらにリンクをたどって類似の要素を探索することができるという具合。
 このほか、映画のプロット、編集上のミスショットのエピソード、ロケーション、興行収入や映画批評といったさまざまな情報を選択して表示したり、テーマ音楽を聞いたりすることもできる。
 面倒な説明はこのくらいにして、まずは実際に使ってみるといいだろう。入り口が1つでも数万の楽しみ方ができる、まさにハイパーリンクの見本のようなウェブ。映画ファンならいったんハマるとなかなか抜け出すことのできないウェブページに違いない。

馬力で勝負? アメ車なみのトルクフルなコンテンツがいっぱい

The Auto Channel

URL <http://www.theautochannel.com/>

ホームページにいきなり登場するグラフィックスのセンスは、一昔前のCD-ROM風? お世辞にもオシャレとはいえないが、内容のほうはいかにアメリカらしい圧倒的な物量作戦。

ニュース、雑誌記事、スペックのデータベース、モータースポーツ、パーツやアクセサリ、メンテナンスやティップス、新車はもちろんクラシックカー、ビンテージカーなど、クルマに関するありとあらゆる情報(といっても米国中心だが)が集められている。

メインステージはレースのライブなど最新のクルマ情報へのリンクを収めたホームページ中央の「Studio」しか

しもっと見応えのあるのが、ビデオやオーディオ、VR画像、市販車からコンセプトカーまでをカバーするスライドショウ、そしてなぜかMIDI音楽までを集めてある「Media Library」。すべてを堪能するためにはVXTRIMEやVDO-Live、VIVO、RealAudio、OLiVR、QuickTime、QTVRなど、いろんなプラグインを準備する必要があるのだから「Tune-Up Tools」でブラウザのメンテをしておいても悪くない。

ページのデザインに目をつむれば、とりえずクルマ好きにはおおすすめのウェブである。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp